

第

3

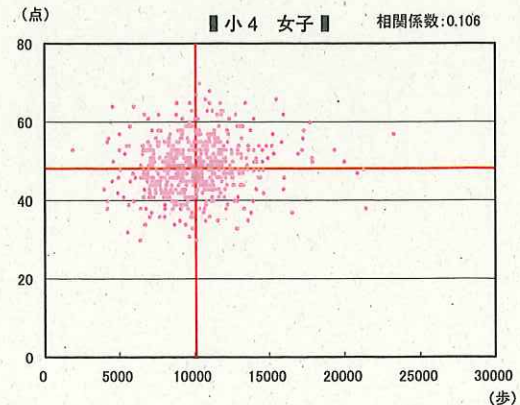
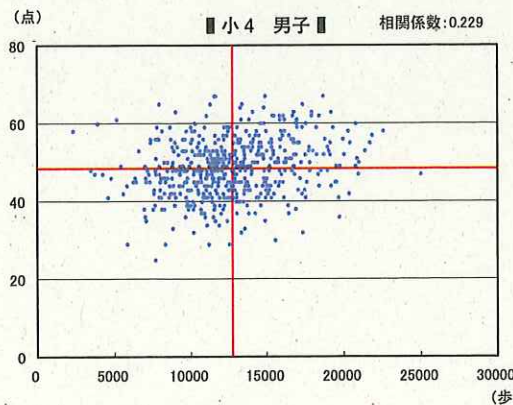
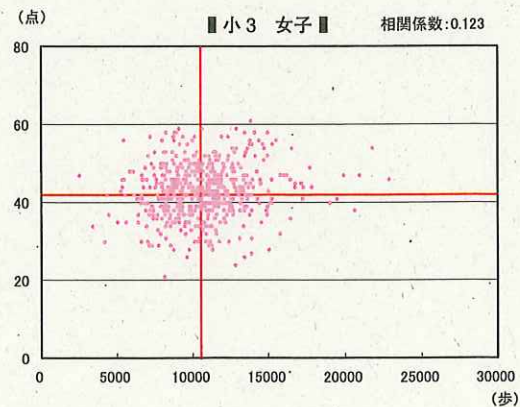
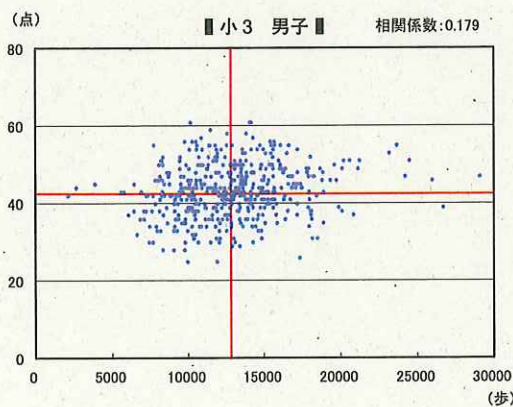
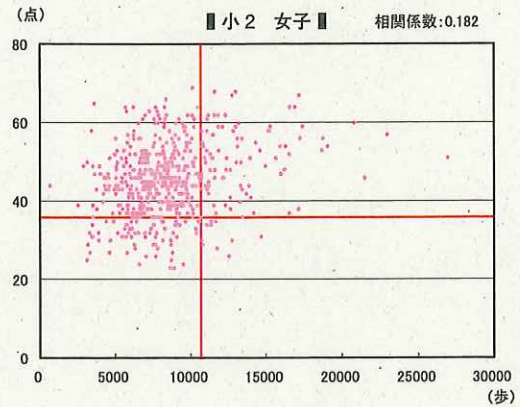
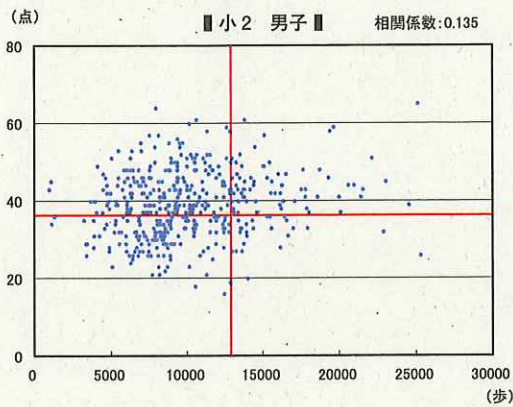
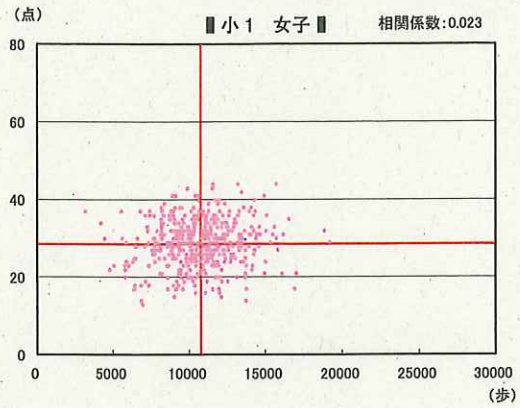
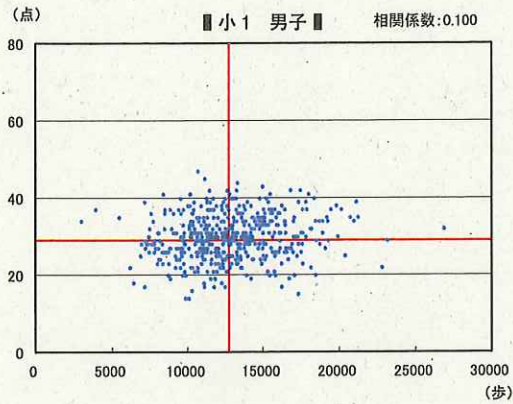
章

歩数調査結果と体力・運動能力調査結果との関連の分析

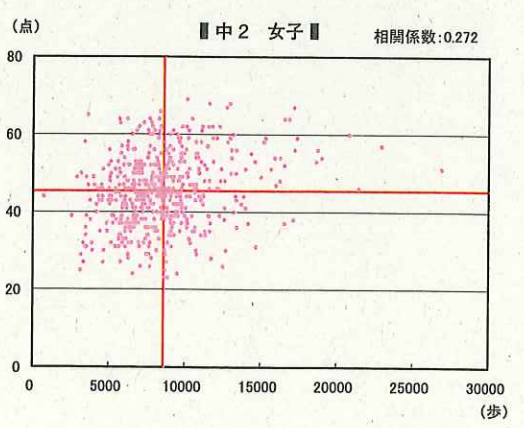
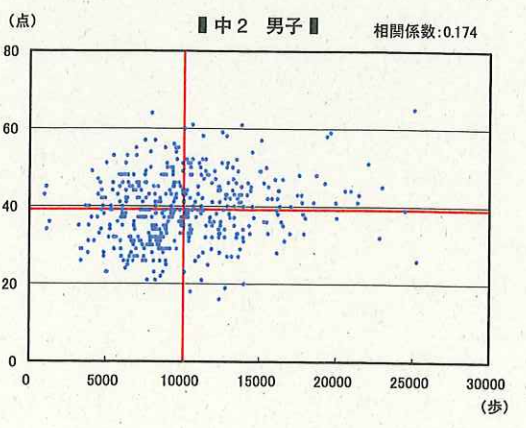
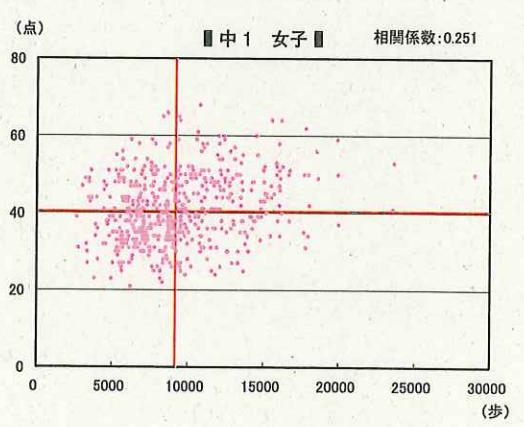
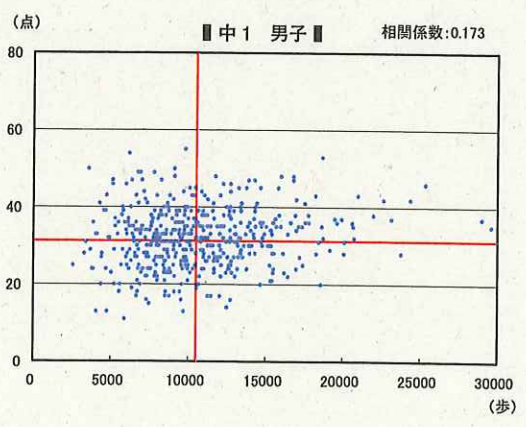
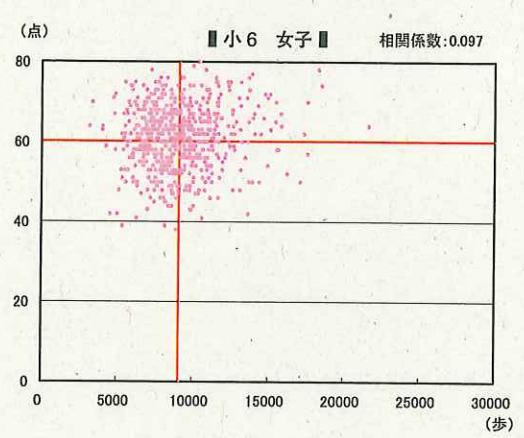
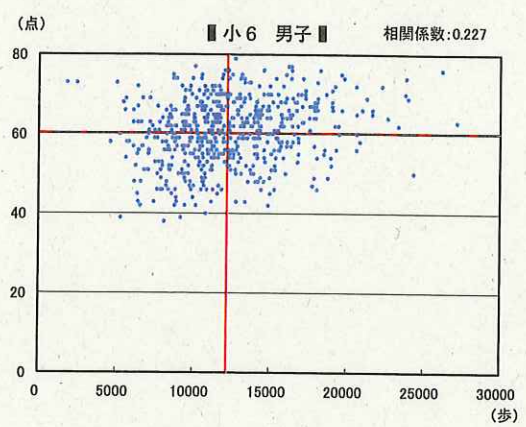
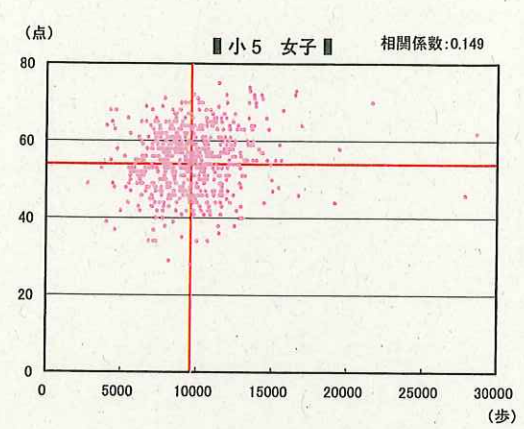
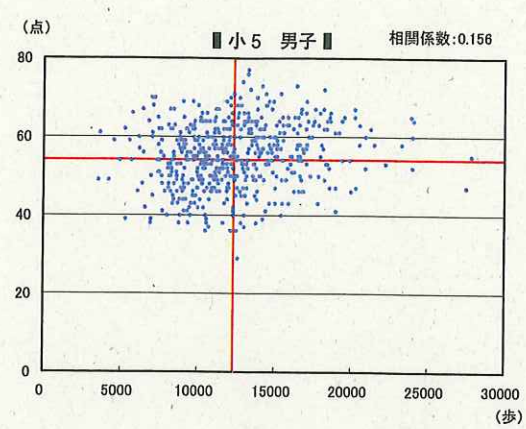
1 1日の平均歩数と体力合計点の関連

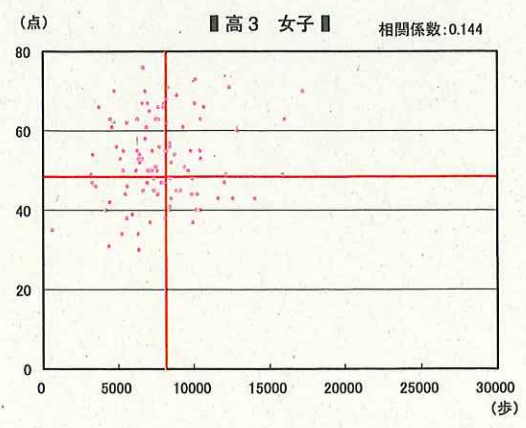
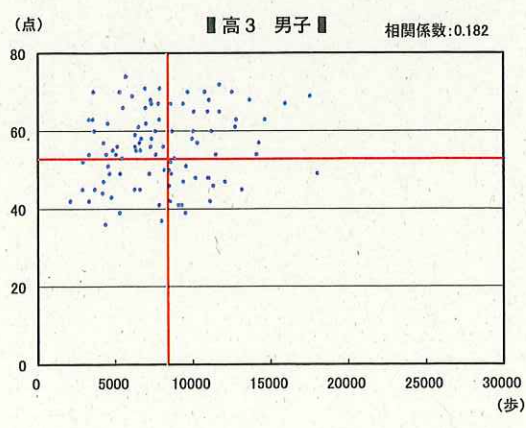
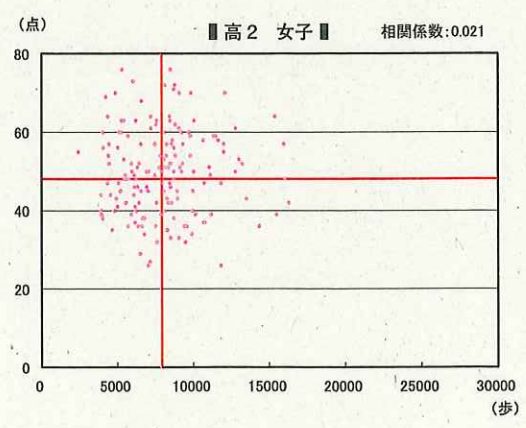
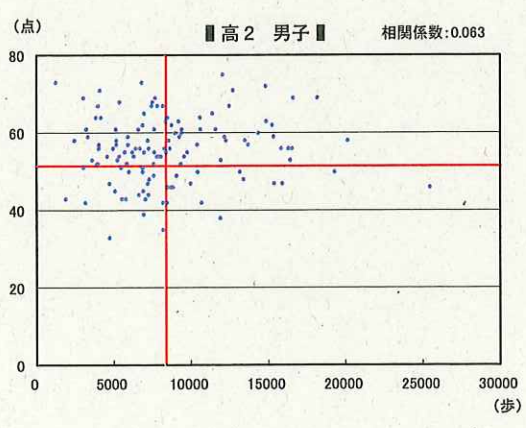
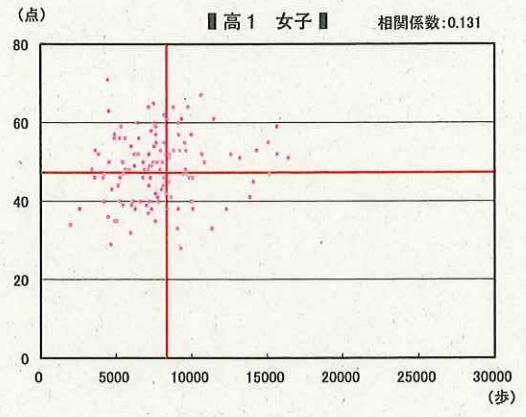
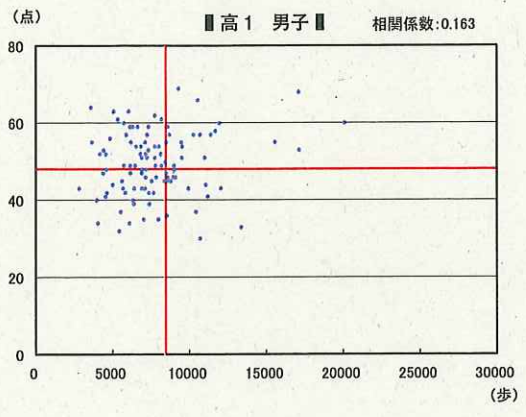
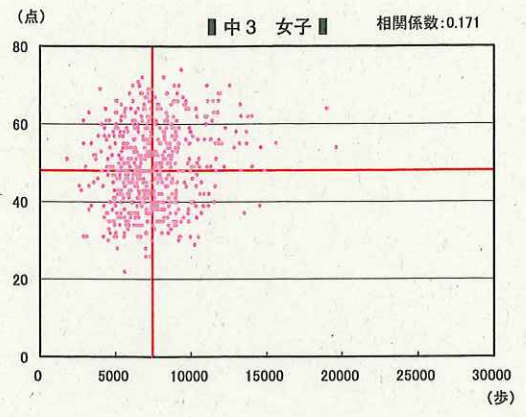
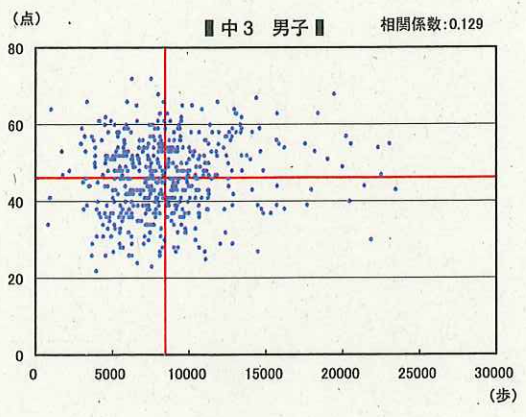
相関係数とは、2種類の値の間の関係の強さ（相関）を表す係数で、-1から1の間の値をとり、1に近いときは正の相関があるといい、-1に近ければ負の相関があるという。0に近いときは相関は弱い。

グラフの赤線 — 縦：1日の平均歩数の東京都平均値
横：体力合計点の東京都平均値



歩数調査結果と体力・運動能力調査結果との関連の分析



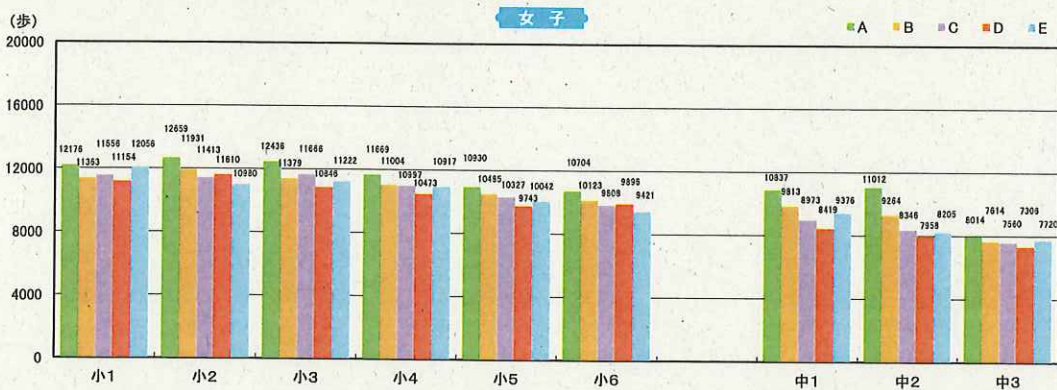
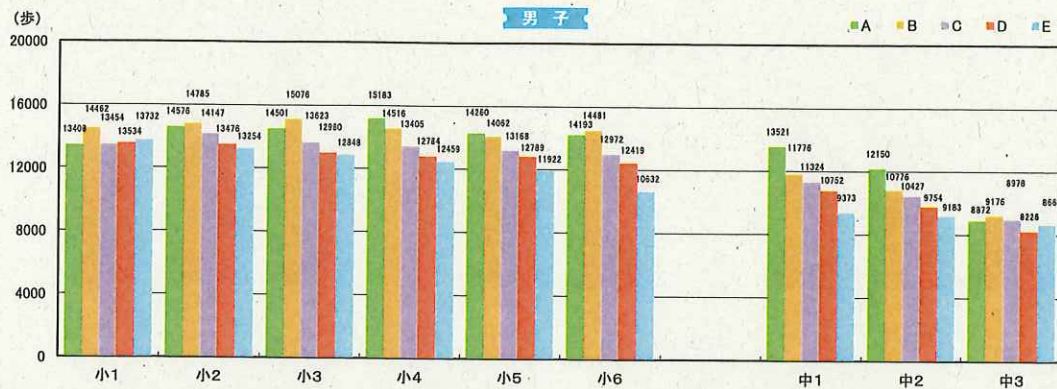


2 平均歩数と体力・運動能力総合評価（A～Eの5段階評価）の関連

小・中学生においては全学年男女共に、総合評価がA段階の児童・生徒は、平日、校内活動、放課後活動、休日、1日の全てにおいて、E段階の児童・生徒より1日の平均歩数が多く、総合評価が上位の児童・生徒は、下位の児童・生徒より1日平均歩数が多い傾向がある。

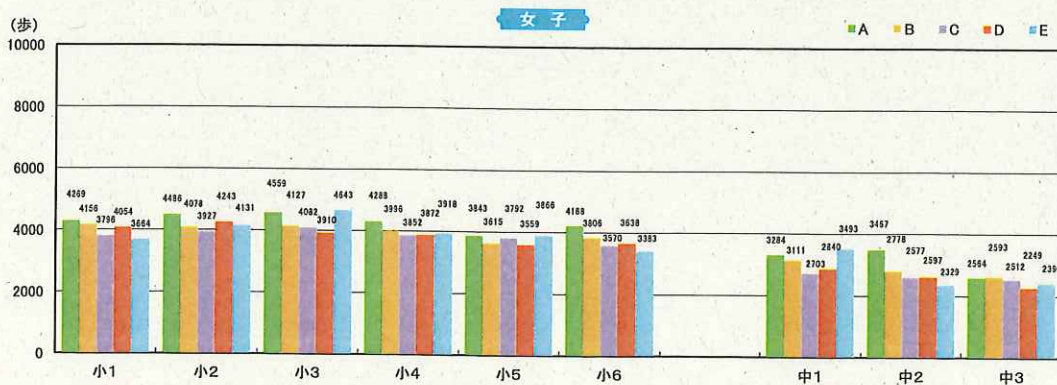
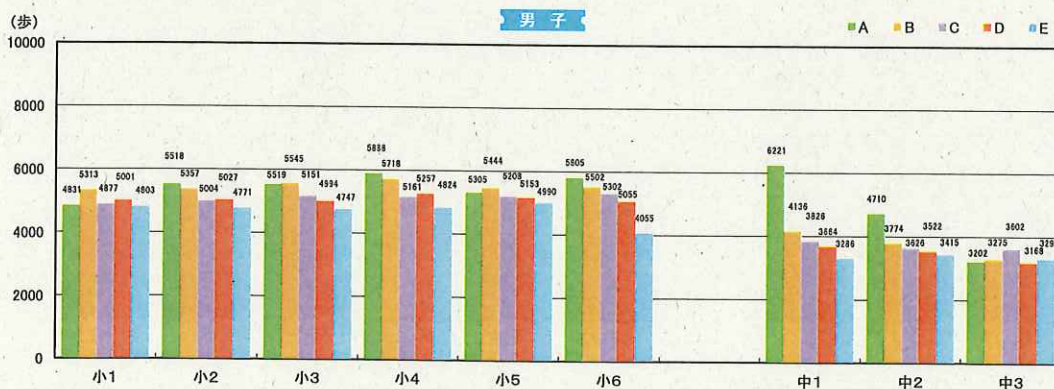
※高校については、総合評価（A～Eの5段階評価）の段階別標本数が極端に少ないため、掲載していない。

ア 平日の平均歩数と総合評価の関係

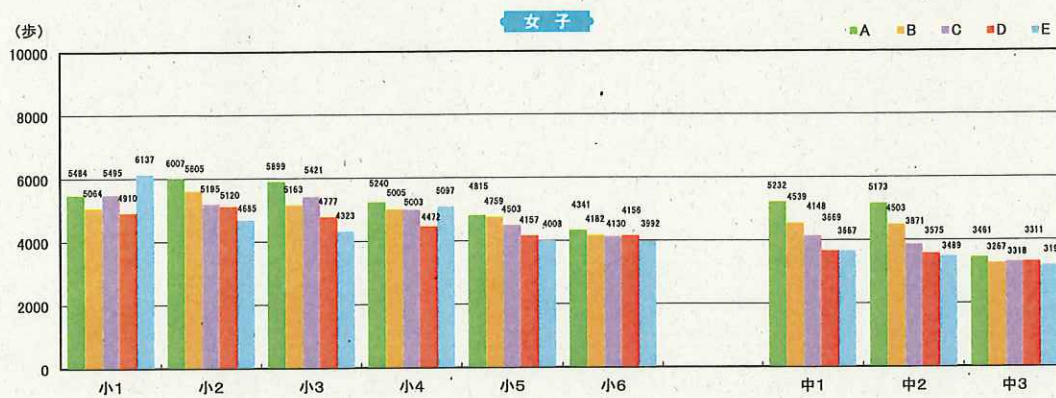
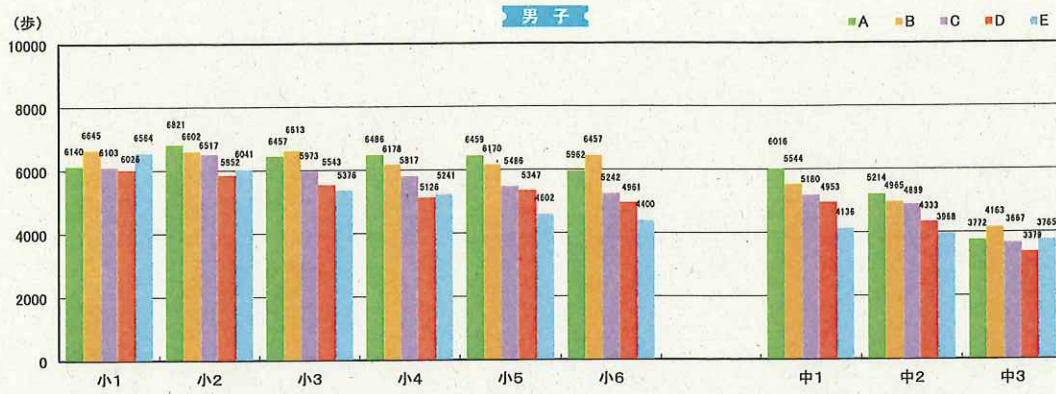


歩数調査結果と体力・運動能力調査結果との関連の分析

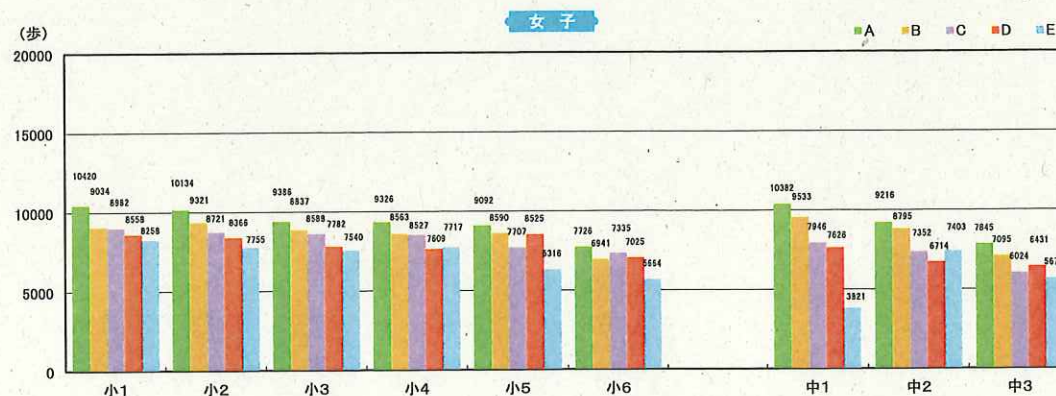
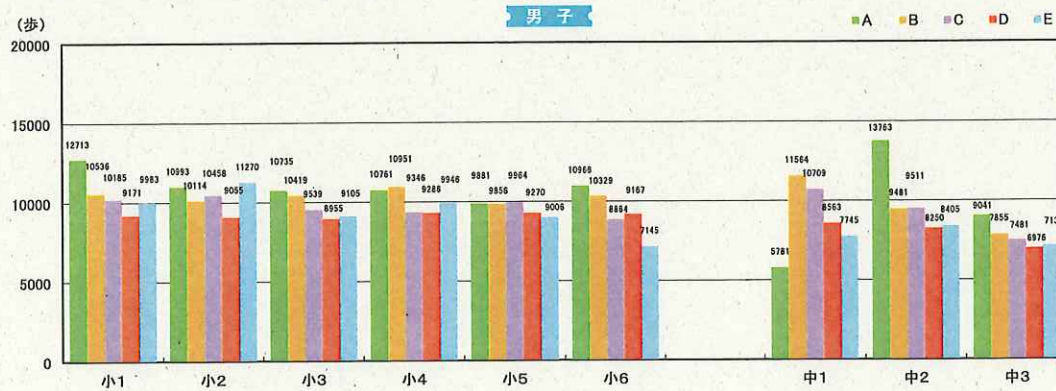
イ 校内活動の平均歩数と総合評価の関係



ウ 放課後活動の平均歩数と総合評価の関係

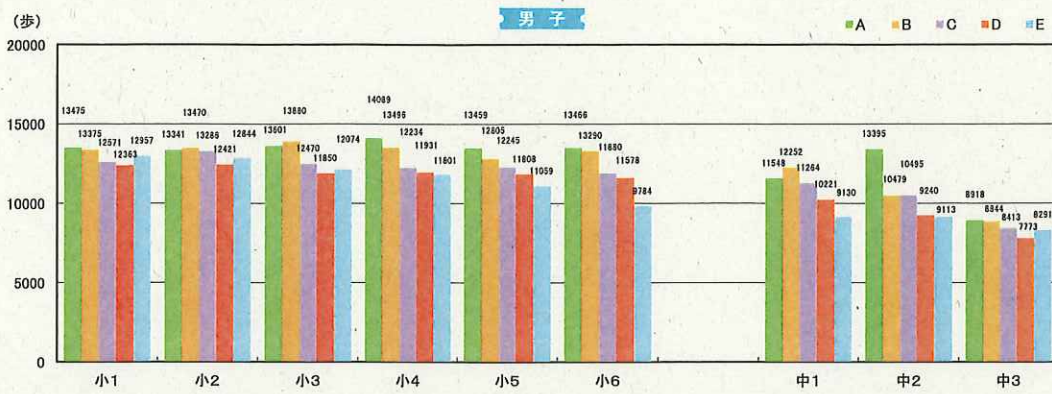


エ 休日の平均歩数と総合評価の関係



歩数調査結果と体力・運動能力調査結果との関連の分析

オ 1日の平均歩数と総合評価の関係



歩数調査結果と体力・運動能力調査結果との関連の分析